



常設展
Permanent Exhibition
北海道の文学
Literature in Hokkaido

未来へと受け継ぎたい文学の営み

北の大地の厳しくも豊かな風土のなかで誕生し、代々育まれてきた北海道の文学…。さまざまな分野でいまなお読まれ続ける名作、知られざる傑作を生み出した文学者らの息遣いが常設展示室には漂っています。遠い未来へと受け継ぎたいアイヌ民族の口承文芸、小説、評論・エッセイ、詩、短歌、俳句、川柳、さらには児童文学。19世紀中ごろから21世紀初頭の現在に及ぶ北海道の文学のエキスを、ぜひゆっくりと味わい、これからの読書にお役立てください。

アイヌ民族の文学

口承文芸として世界的に知られるアイヌ叙事詩ユーカラや昔話…。アイヌ民族は、これらに代表されるすぐれた文化遺産を今日まで伝えてきました。ここでは、これらを語り継いできた人々、また、研究や日本語訳の仕事に心血を注いだ人々の姿を、紹介しています。

北海道の小説・評論

明治期にかけて近代北海道が形成されていく過程で現れはじめた文学者たち…。幸田露伴、国木田独步、有島武郎、岩野泡鳴、石川啄木ら北の大地に渡ってきた人々に、武林無想庵、子母澤寛、森田たま、素木しづら北海道に生まれた人々が続きます。大正から昭和へ…。社会変革への強い意志を示しながら創作活動を続けた小林多喜二、本庄陸男、久保栄らと並行するようにして、伊藤整、岡田三郎、長谷川海太郎ら欧米の新しいスタイルを取り入れた人々の活動が現れます。日本が戦争へと突き進んだ時代…。暗い流れのなかで続けられた作家活動でしたが、北海道には寒川光太郎や船山馨、辻村もと子、坂本直行らの営みがありました。戦後の混乱期、そして高度経済成長期へと時代の動きが加速するなか、原田康子、三浦綾子、渡辺淳一ら、全国的な話題を呼ぶ書き手たちが続々現れました。それに続く池澤夏樹、小樽山博、藤堂志津子、加藤幸子らの活動も紹介しています。

北海道の詩／短歌／俳句／川柳／児童文学

1920年代に本格化したこれらの分野からは、北海道を大きく越えて活動した人々の姿を紹介しています。
詩：吉田一穂、小熊秀雄、更科源蔵、竹内てるよ、和田徹三、河野文一郎らの活動。
短歌：小田観螢、並木凡平、山下秀之助、中山周三、中城ふみ子、山名康郎らの活動。
俳句：比良暮雪、細谷源二、鮫島交魚子、山岸巨狼、園田夢蒼花、木村敏男らの活動。
川柳：井上剣花坊、田中五呂八、鶴彬、西島〇丸、斎藤大雄らの活動。
児童文学：伊東音次郎、石森延男、神沢利子、加藤多一、後藤竜二らの活動。

主な文学館収蔵資料のご案内 Collections

- 高橋留治文庫
高橋留治が生前に収集した膨大なコレクションで、近代日本の詩集を主に、書籍・雑誌・書簡・原稿ほか約3,200点。萩原朔太郎、宮沢賢治らの初版詩集など稀覯本の多いことが特徴です。
 - 久保栄文庫
戦前・戦後を通じ、劇作家・小説家として文学史に足跡を残した久保栄の旧蔵資料。直筆原稿や遺品、自作の演劇台本、演劇・外国文学・歴史などにかかわる書籍など約1,100点。
 - 船山馨文庫
『石狩平野』、『お登勢』などの小説で知られる船山馨の旧蔵資料。直筆原稿や遺品、書籍のほか、テレビドラマ化された船山作品の脚本もあります。
 - 石森延男文庫
児童文学者・国語教育者として貴重な仕事を残した石森延男の旧蔵資料。児童読み物、教科書などの著作、直筆資料などがあります。
- ※以上のほか、有島武郎、森田たま、和田徹三らにかかわるコレクションもそろっています。これらのうち状態のよい資料は、閲覧室で調査・研究等のためにご覧になることができます。事前に当館司書・学芸員にご相談ください。

文学館利用のご案内 Information

- 開館時間：9:30～17:00（展示室入場は16:30まで）
- 休館日：「催し物のご案内」ページをご覧ください。
- 建物使用料：特別展示室＝1日…57,450円
講堂＝午前…6,550円、午後…8,180円、1日…14,730円

*特別展示室・講堂の一部使用を希望される際は、料金が減額されますので、文学館業務課までお問い合わせください。

- 観覧料の免除：
 - 次の方は常設展、「長谷川四郎とそのきょうだい」展、「文学館コレクションの輝き」展が無料です。
- 中学生以下とその引率教員／学校の教育活動の一環として観覧する高校生等とその引率教員／土曜日・こどもの日・文化の日の高校生等／児童・老人福祉施設に入所している方とその引率者／身体障害者手帳等をお持ちの方とその引率者／生活保護を受けている方／65歳以上の方
- 次の方は「安部公房」展、「おぼけのマール」展が無料です。
- 学校の教育活動の一環として観覧する小中高校生等とその引率教員／児童・老人福祉施設に入所している方とその引率者／身体障害者手帳等をお持ちの方とその引率者／生活保護を受けている方
- ※詳細は文学館までお問い合わせください。

交通案内

- 地下鉄南北線中島公園駅(③番出口)
または幌平橋駅(①番出口)下車徒歩6分
- 市電「中島公園通」から徒歩10分
- JRバス「中島公園入口」から徒歩4分

Transportation:
Get off at "Nakajima-koen" or "Horohira-bashi" on subway Nanboku line (the South-North line). The Museum is a six-minutes walk from each exit.

北海道立文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番4号
TEL.011-511-7655
FAX.011-511-3266

Hokkaido Museum of Literature

1-4 Nakajima-koen, Chuo-ku, Sapporo, 064-0931 Japan
Phone: 011-511-7655 Fax: 011-511-3266

URL <https://www.h-bungaku.or.jp/>
e-mail: bungaku@h-bungaku.or.jp

(指定管理者) 公益財団法人北海道文学館	(施設設置者(北海道教育委員会)の連絡先) 札幌市中央区北3条西7丁目 北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課 代表 TEL 011-231-4111
-------------------------	--



※公園内につき、ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。

北海道立文学館

事業案内

2025.4～2026.3

H O K K

A I D O

M U S E

I M O F

I T E

R A T U

E

立

学

館



常設展観覧料 Fees for the Permanent Exhibition

一般 Adults 500(400)円
高・大生 High School Students and University Students 250(200)円
中学生以下 Junior High School Students and under 無料 Free
65歳以上 Age 65 and over 無料 Free
()内は10名以上の団体料金です。
道みんの日(7月17日)、開館記念日(9月23日)、芸術週間(11月1日～7日)は無料となります。

閲覧室のご案内 Reading Room

- 北海道にゆかりのある作家の著書や全集、参考図書などが閲覧できます。
- 収蔵庫内資料(閉架資料)をご利用の際は受付にお申し込みください。
- 資料保存のため、館外への貸出は行っておりません。
- 著作権法の許す範囲内で資料の複写ができます。(有料)
- 収蔵資料(図書・雑誌)については、室内の検索機や、当館ホームページ(<https://www.h-bungaku.or.jp/>)で検索することができます。



*主な備え付け図書・雑誌
『有島武郎全集』『小林多喜二全集』『三浦綾子小説選集』『渡辺淳一全集』ほか、道内文学同人誌、市町村文芸誌、ジャンル誌(短歌・俳句・川柳・詩・児童文学)など

※特別資料(原稿などの直筆資料等)の閲覧は文学の振興・普及、調査・研究及び教育目的の利用に限ります。(事前に申請が必要になりますので、詳しくはお問い合わせください)

映像ライブラリーのご案内 Image Library Corner

閲覧室内にある2台のブースでは北海道の文学に関する映像作品の鑑賞ができます。(無料)
北海道の文学(13分)、有島武郎とヨーロッパ(18分)、中城ふみ子哀歌(14分)、石川啄木旅日記(28分)ほか多数

